

来たる総選挙は市民と野党の共闘強化で 統一候補擁立を求める足立区からのアピール

地方選挙をたたかい、7月参議院選挙にご奮闘されている皆さんに敬意を表します。参議院選挙と同時に、安倍政権は衆議院選挙も実施するのではないかと動向が注視されています。衆議院選挙（小選挙区）にそなえて、市民と立憲野党は共闘をいっそう強め、選挙を勝ち抜いていく態勢づくりが急がれると思います。その思いから、「市民と政治をつなごう！市民連合あだち」は、以下のことを政党関係者と、安倍政治を早く終わらせたいと願う市民の皆さんに呼びかけます。

- 1 2017年総選挙（小選挙区）において野党統一候補が実現しなかった選挙区においても、政党間協議を促進し、市民と共に統一候補を早期に実現してください。

衆議院補欠選挙は、沖縄3区でオール沖縄の推す候補が勝利しましたが、大阪12区では自民候補は敗れたものの市民と野党の共闘候補は勝てませんでした。統一地方選挙は、まれにみる低投票率となり安倍政権与党の知事や改憲勢力の日本維新の会が推す知事・市長が当選する残念な結果となりました。市民と野党共闘の準備不足が大きな原因です。沖縄のように安倍政治との明快な対抗軸を示した候補が、早期に全国的に立ち上がるならば、変革への期待が高まり多くの市民は選挙に参加するものと思います。バラバラでは勝てません。7月参議院選挙で、32ある1人区で候補の1本化ができるなら、安倍政権が狙う改憲勢力を3分の2以下に落とし込むチャンスが生まれています。総選挙での協力を加速させてください。

前回の総選挙（2017年）で、足立区が属する12区では市民と野党の協力で候補がまとまり与党候補との1対1の構図となりましたが、13区では市民連合あだちと野党候補者と政策合意はできたものの、最終的には候補者の1本化はできませんでした。12区で野党候補は得票を伸ばし、13区での野党候補者の合計得票数は十分に与党候補者と闘えるものでした。「今度こそ統一候補を早く」、この思いを市民連合あだちは強くしています。東京都下、すべての小選挙区は同様の状況であり、今度こそ統一候補実現で政治を変えていきましょう。

- 2 野党統一候補の政策を、政党関係者と市民の協働で、豊かに変革の展望を示すものに作り上げましょう。

市民の生活はますます苦しくなり、安倍政治のウソ、横暴さ、閉塞感に誰もがうんざりしています。憲法9条改憲のうごきと安倍政治を終わらせ、社会保障や年金の削減ではなく個人の尊厳が実現できる政治、生活改善となるみんながワクワクする政策を、野党の統一候補が鮮明に示すことが求められます。そうなれば「あきらめムード」はなくなり、変革への期待も高まり選挙戦勝利への胎動がはじまります。

私たち市民連合あだちも、全力をあげてともにたたかいます。

2019年4月24日

市民と政治をつなごう！市民連合あだち
筆頭呼びかけ人 中山 武敏

連絡先：吉田きんじ（事務局長）080-5377-6692